

みしま



2012

6

June

広報みしま No. 231

毎日ありがとう。

うれしい楽しいお弁当

三島小1年生のみんなは、お弁当の時間が大好き。毎日作ってくれる家族に感謝して、今日も元気に「いただきまーす」



9人を広報みしま町民記者に委嘱 さらに身近で、役立つ広報誌に 地区づくりの支援にも



地区から推薦された9人に町民記者の委嘱状が手渡され、小型デジタルカメラと腕章が貸与された。その後、広報みしまへの寄稿方法やカメラの使い方についての説明会を行った

広報みしま町民記者の委嘱は5月22日、町民センターで行われ、地区から推薦された9人に委嘱状が手渡されました。また取材に使用する小型デジタルカメラと腕章を貸与しました。

町民記者は、地区での話題などを取材し、広報みしまへの寄稿を行います。これにより情報共有を図りながら、地域の魅力や課題の掘り起こしを狙い、地区づくりの支援につなげていきたいと考えています。また行政側の視点に偏らず、町民記者からの情報提供をもとに、さらに身近で、さらに役立つ広報誌を目指します。

今後、広報みしまでは町民記者からの寄稿による写真や記事を掲載し、これまで以上に町内の話題を幅広く広報していきます。

広報みしま町民記者

佐久間 征 悦さん (滝原)
渡部 和さん (大石田)
若林 幸代さん (滝谷)
角田 伊一さん (川井)
五十嵐 信一さん (早戸)
坂内 洋二さん (西方)
小島 純さん (宮下)
菅家 敏一さん (高清水)
長谷川 一雄さん (桑原)



広報みしま町民記者に委嘱された皆さん

広報みしま町民記者 さらに公募しています

今回委嘱した地区推薦の町民記者以外に、やってみたいという方を公募しています。気軽に楽しく、広報誌づくりに加わりませんか。

- ◆公募人数 2人程度
- ◆任期 1年(ただし再任を妨げません)
- ◆業務 「広報みしま」への寄稿
(※必ず定期的にということではありませんが、可能な範囲でご協力をお願いするものです)
- ◆内容 町内の各種活動・話題等で、広報する内容として認められるもの
- ◆方法 写真と記事の提供
- ◆貸与 小型デジタルカメラ1機、腕章
- ◆報償金 寄稿1件につき2千円

【応募先】

役場 地域政策課 美しい村づくり班 ☎(48) 5533



大林ふるさとの山 (西方地区)

写真/4月中旬になっても50cmほどの積雪があったが、下旬には気温が上がってどんどん雪が解け、カタクリが一齐に花を咲かせた。オオヤマザクラも同時期に見ごろとなり、里山は春色に染まった(5月1日撮影)

春の陽光に輝く夢空間

約4畝のカタクリ群生とオオヤマザクラの花園



(左から) 小柴子ヨさん
小平良子さん
高橋信子さん

雪解けが遅かった今年、わたしたちの心配をよそに、カタクリは雪の下でエネルギーを蓄え、桜は開花の時をじっと待っていました。一気に暖かくなったゴールデンウィーク、遅い春を迎えた大林ふるさとの山は、いつも通りの野の花共演を見せてくれました。

連休期間中は西方カタクリの会の皆さんが味噌団子やお茶でおもてなし。メンバーの小平良子さんは「旅行先でちょっと休める場所や、地元の味が

あればうれしいものね。だから遠くから来てくださる方に少しでもね」と話しました。

西方地区と西方共有財産管理会の皆さんが整備を行い、美しい景観を守ってきました。園内に設置した協力金箱には来訪者の善意が集まり、これを財源に公園案内図や追突注意看板などが設置されました。

冬がどんなに厳しくても、必ず喜びの春が来る。毎年そう教えてくれる、ふるさとの山です。





交流センター山びこ内厨房を調理施設として食事提供が認可され、5月10日に最初の「お楽しみランチ」が行われました。メニューは「鶏から揚げの野菜あんかけ」と「野菜たっぷり鶏ガラスープ」。また通常で飯は持参しますが、この日は特別に、小学生が体験授業で昨年収穫したもち米を使った「おこわ」が出されました。おかわりをする児童生徒も多く、用意したものは三島小・三島中ともに、きれいになくなりました。



楽しいお弁当の時間がさらに楽しく。「お楽しみランチ」は子どもたちに大人気

ここにしかない 食育



三島小・三島中で月2回程度、地元食材を使ったおかずやスープなどを提供する「お楽しみランチ」が始まりました。子どもたちのために保護者や地域の方々が調理スタッフとなり、食材の仕入れ、調理、配送などのすべてを担っています。完全給食を実施していない当町において、ほかにはない食育のかたちが実現しました。

3つのお弁当サポート

- I お楽しみランチ！**
保護者などのグループ「ランチBOX」が月2回程度、学校に焼き料理、煮物、汁物などを提供する。児童生徒はご飯、皿、おわん、はしを持参する。個人負担は食材費として1回200円、その他の経費は町が負担。
- II お弁当教室**
小学生、就学前児童の保護者などを対象に、お弁当作りの心構えや、おかずのレパートリーなどを学ぶ教室を開催する。
- III お弁当SOS**
体調不良や仕事の関係などの理由により、弁当作りが困難な場合の緊急対応として、町内業者が注文に応じ、お弁当を学校へ届ける。1個400円で全額個人負担。

完全給食のない当町独自の方策を検討

当町では小中学校での完全給食を実施していません。小学校では県内で唯一です。三島小入学から三島中卒業まで牛乳のみを提供しており、児童生徒は弁当を毎日持参しています。

町内では長年、保護者から給食の実施を願う声があり、町が実施したアンケートでも給食を希望する記入が多く見られました。町では完全給食

地域の手で、地域の食材で月2回のお楽しみ

「お楽しみランチ」は児童生徒の昼食に、おかずやスープなど温かいものを提供する方策として考案されました。しかし当町には学校への食事提供が認可される体制がなかったため、施設面や衛生面、運営体制などについて検討を重ねてきました。

学校給食は、学校給食法に定められた規定を満たさなければ実施することはできません。町では「お楽しみランチ」で行う月2回程度の食事提供について、県教育委員会と協議した結果、学校給食法の規制を受ける内容ではないとの見解を得ました。しかし対象が学校の児童生徒であることから、学校給食に準じた衛生管理の体制が求められました。

町では会津保健所の指導を受け、交流センター山びこ内の厨房を調理施設として改修。調理スタッフは保護者などから募集し、13人の運営組織「ランチBOX」が発足しました。スタッフは衛生管理

の実施について調査・検討してきましたが、主に財政上の理由から実施には至っておりません。

しかし「子どもに時々でも温かいものを食べさせたい」「みんなで同じものを食べる経験をさせたい」などの切実な声を受け、平成21年12月に「お弁当サポート推進委員会」を設置。試験的な昼食会などを行いながら、保護者、地域、行政が連携した独自の支援ができないか検討してきました。

マニュアルに基づいた研修を受け、「お楽しみランチ」の実施体制が整いました。

お弁当作りを応援困ったときはSOS

また家庭の弁当作りを応援するために「お弁当教室」をこれまで3回開き、管理栄養士の指導のもと、弁当作りの心構えや調理法などを学ぶ機会をつくりました。さらに、どうしても弁当作りが困難な場合の緊急対応として、認可された町内業者が家庭からの注文に応じて、弁当を学校へ届ける「お弁当SOS」を実施しています。

◆保護者アンケート◆

弁当作りで大変なことは？

- ①おかずのレパートリーに悩む。 57%
- ②体調を崩したときなどに困る。 49%
- ③夜間・早朝勤務などで大変。 34%

全員の お母さんのつもりです

ランチBOX代表
森田 喜美代さん



子どもたちに楽しみにしてもらえるように、調理法を工夫しています。地元の食材と伝統食を生かして三島ならではのメニューを提供し、好き嫌いをなくしてあげたいです。将来的には学校だけでなく、さまざまな注文に応じ、自立して経営することが夢です。

親と子が向き合い 子育てのヒントになれば

お弁当サポート推進委員会委員長
ランチBOX副代表
五十嵐 乃里枝さん



通常の学校給食では、家庭とのつながりが薄いのではないのでしょうか。お母さんたちが担い手となれば親と子が向き合う機会となり、親同士の情報交換や世代間交流にもつながります。その中で食育、子育てのヒントになればと思います。



お弁当SOSを受け付け
みしまグルメ
板橋 敦子さん

なるべく地元の食材を使うようにしています。最初は食べ残していた子も、きれいに食べるようになりうれしいです。忙しいお母さんの助けになればと思います。



お弁当SOSを受け付け
ログハウスどんぐり
海老名 陽子さん

私自身は子育てが終わってからはばらばらでしたが、真っ最中のお母さんが困ったとき、少しでもお役に立てればと思います。

お母さんたちの手で 児童生徒へ直接提供

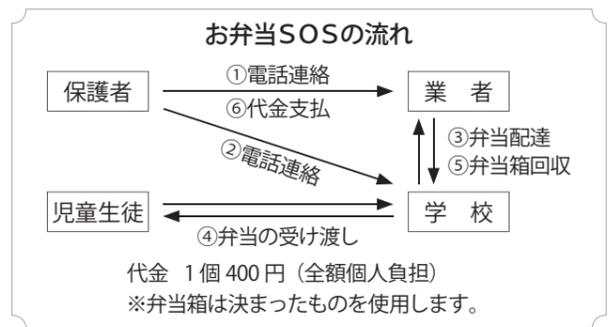
「お楽しみランチ」を始めるに当たり、お弁当サポート推進委員会と町教育委員会では、厚生労働省の大量調理施設衛生管理マニュアルを参考に、独自のマニュアルを作成しました。いわゆる学校給食ではありませんが、学校の児童生徒に食事を提供するという意味では、学校給食と同等の衛生管理を行わなければならないという方針で運営して

います。
マニュアルには、①体調が悪い場合は、症状に応じて調理に従事しないなどの措置をとる②手洗いは爪ブラシを使用し、二度洗いを行う③食材、用器具は床置き禁止などの規定を細かく定めています。食材の仕入れから調理、配送などのすべてを担うランチBOX代表の森田喜美代さんは「生野菜なども使ったおいしいサラダを作ってあげたい」とも思いますが、食中毒防止のために生ものは出していない

「お楽しみランチ」は月2回程度としていますが、夏の暑い時期は避けるなど、実施日については小中学校と協議して決められ、町教育委員会から保護者に連絡します。ランチBOXは13人の調理スタッフを2班に分け、交互に業務を担当します。

緊急時には 「お弁当SOS」

「お弁当SOS」は、どうしても弁当が用意できない場合に、業者が弁当を作り学校へ届けるものです。家庭から直接業者に注文し、代金400円は全額個人負担となります。注文は当日の午前9時まで受け付けます。弁当箱は決まったものを使い、業者から学校へ届けられ、教職員から児童生徒へ渡されます。



お楽しみランチ

業務の流れ

運営組織/ランチBOX
調理施設/交流センター山びこ内厨房
※調理スタッフは実施日の2週間前に検便を行う。

- 着替え** ● 三角巾、エプロン、マスクを着用。(髪の毛の混入を防ぐため、三角巾を先に着用する)
- 検収** ● 食材の表面温度を測るなどの検収を行い、食品検収表に記録する。
- 調理** ● 長靴に履き替え、調理室に入る。
● 手洗いは爪ブラシを使い、二度洗いを行う。
● 食材および料理済み加工食品は、一品ずつ50グラム程度をビニール袋に入れ、冷凍庫に保存する。
● 中心温度計を使い、食品の中心温度を3点以上測定し、調理加工記録簿に記入する。
● 検食を行い、検食実施記録簿に記入する。
- 配送** ● 三島小、三島中に分かれて配送および配食を行う。
- 片付け** ● 昼食終了後、片付けをして交流センター山びこに戻る。(残飯は回収して持ち帰る)
● 着用したエプロンは、各自持ち帰り洗濯する。
● 食缶等の洗浄・片付け
● 調理室の清掃・消毒

お楽しみランチ運営組織 ランチBOX

代表	森田 喜美代さん (川井)
副代表	五十嵐 乃里枝さん (大谷)
	板橋 敦子さん (滝原)
	長谷川 美恵子さん (川井)
	矢澤 昌江さん (高清水)
	角田 菜穂子さん (川井)
	齋藤 恵美さん (宮下)
	小松 みきさん (西方)
	酒井 理恵さん (宮下)
	舟木 えみさん (中平)
	菅家 夏江さん (中平)
	秦 恵美さん (大石田)
事務局	小柴 奈穂美さん (西方)

運営責任：町教育委員会

お母さんたちが調理スタッフ 心を込めて子どもたちへ 安全でおいしいランチを

「お楽しみランチ」の大きな特徴は、地域の人が地域の人々がつながっていくことです。地域の人が地域の食材を使ったメニューを子どもたちへ届ける仕組みによって、地産地消や、学校と地域のつながりが発展してきます。また保護者などのグループが運営を担うことで、わが子も含め児童生徒の反応を直接見ながら進められることもメリットです。
月2回程度の実施ですが、衛生面は学校給食と同じように気をつけ、安全でおいしいランチを提供します。





楽しみにしていたカレーに列を作る三島中の生徒たち

2回目の「お楽しみランチ」は5月24日に行われ、カツカレーとコンソメスープが提供されました。三島中では、ランチBOXの皆さんが校舎内へ運び入ると、生徒たちは楽しみにしていたカレーに列を作りました。

「お楽しみランチ」は子どもたちにとって、地域の人の手で食事が提供されるということ、身近に実感できる機会となっています。



家庭と地域の愛情が注ぎ込まれる。これが本当の食育

三島中
星 信男 校長

完全給食を実施している学校では、便利ではあるけれど、給食は給食、家庭は家庭で、食育としての連携がないことが多いと思います。ランチBOXは、地域の皆さんで子どもたちを育てていこうという組織であり、ほかにはない素晴らしい取り組みです。地域の人が学校へ入り、子どもの成長を直接見ることができ、子どもたちは地域の人の手で食事が提供されることを実感でき、お互いに良い作用が生まれる理想のかたちです。これが本当の食育だと感じています。専門業者が提供する通常の給食では、なかなか難しいことです。

またランチBOXは世代を超えたメンバーの皆さんで運営されています。保護者の皆さんも、それ以外の皆さんも、みんなで子どもたちのためという気持ちが伝わってきます。子どもたちの表情を見ていると、本当に楽しみにしているのがわかります。一つ一つ手作りの、家庭と地域の愛情、そのありがたみが分かる生徒になってほしいと願っています。



子どもを思う意識が高まる。それが弁当のメリット

三島小
佐藤 則之 校長

給食がないので、私たち教職員も毎朝弁当を作ります。私自身、自分で作ることで栄養バランスを考えたメニュー選びをするようになりました。三島町の保護者の皆さんは、毎日の弁当作りを通じて、お子さんの食生活を考える意識が自然に高まっているように感じます。弁当箱を洗うとき、おかずを残していれば「具合でも悪いのかな」と体調にまで気を配っているはず。完全給食の学校ではこのようなことはありません。毎日弁当を作ることは大変なことですが、三島町では弁当のメリットを最大限に活かしていくべきだと思います。

「お楽しみランチ」は給食のメリットを取り入れた素晴らしい取り組みだと思います。共通の食事を友達と一緒に食べることは、給食以外ではなかなか経験できません。また家庭ではあまり食べないものを口にする経験もできます。配膳の仕方や分量など少し改善できる面もあるかと思います。教職員は他校での給食を経験していますので情報提供できればと思います。また使っている食材の産地など、前もって分かれば子どもたちへ伝えることもでき、地産地消の理解につながると思います。そういった連携ができるよう学校としても協力したいと考えています。

ダブルの効果

普段は家庭のお弁当。時々地域の人たちが学校へやってきて「お楽しみランチ」。子どもたちはいつも楽しみ。そして感謝の気持ちを深めています。保護者の皆さんにとっては、月2回でも助かること。そして「お楽しみランチ」を通して家庭と学校、地域が繋がっていくこと。ほかにはないダブルの効果も期待できるのではないのでしょうか。



5月24日の「お楽しみランチ」で出されたカツカレーとコンソメスープ

子どもたちに聞きました。

普段はお弁当で、時々「お楽しみランチ」。どう思いますか？



三島小3年
青木 信幸くん 荒屋敷

「お楽しみランチ」は時々なので、食べたい気持ちをためておいて、届いたときにすごくうれしい感じです。毎日でもいいけれど、お母さんのお弁当と両方だからいいんだと思います。

三島小6年
酒井 悠人くん 西方



温かいものを食べれるのが一番うれしいです。学校の授業で栽培した米も使ってもらえたり、自分たちで作ったものももっと料理に使われてほしいです。もう少し回数が増えてもいいかなと思います。



三島中2年
五十嵐 梓さん 大谷

「お楽しみランチ」の日は、お母さんが早起きしてお弁当を作らなくてもよいので、月2回でも助かると思ってました。お母さんのお弁当が大変さが、あらためてわかりました。パスタなどもあったらいいなと思います。

Our Special Lunch Menu

ここだけのとっておきレシピ

地域の食材を使い、地域の人の手で、三島だけの特別メニュー
ランチBOXの皆さんが、心を込めて子どもたちへ
そのレシピ4例を紹介。どうぞご家庭でも



地域がつながり、心が伝わるような
愛情にあふれた食事を、子どもたちのために

皆さんの理解のもとに
ほかではできない
三島だけの食育を

町教育委員会
北館長一 教育長



町では長年、学校給食の実施について検討してきましたが、完全給食は実施していません。そこで何か工夫した支援ができませんか、お弁当サポート推進委員会を設置し検討を積み重ねてきました。「子どもたちに同じものをみんな食べる楽しさを経験させたい」「より良いお弁当作りを支援する」という思いで、さまざまな課題をクリアし、ようやくこぎつけた支援のかたちです。

ランチBOXの皆さんには大変お世話になります。メンバーには児童生徒の保護者の皆さんが多く、親が自ら調理し、子どもの食

べる姿を直接見ながら運営することが、「お楽しみランチ」の大きな特徴です。

小学校では県内で唯一、完全給食を実施していないという現状の中、実施を求める声があることも事実です。しかし通常の給食ではできない「食育」というものが、三島ならではのこの事業ではできると思っています。

多くの保護者の皆さん、町民の皆さんが理解してくださっているものと思います。今後も家庭、地域、学校、行政が一体となって取り組んでいけるようご協力をお願いします。

全国の学校給食実施状況（平成22年度）

区分	学校総数	実施率				実施していない学校数
		完全給食	補食給食	ミルク給食	計	
小学校	21,628校	98.1%	0.5%	0.6%	99.2% (21,459校)	169校
中学校	10,749校	76.9%	0.6%	8.0%	85.4% (9,182校)	1,567校

県内の学校給食実施状況（平成22年度）

区分	学校総数	実施率（学校数）			
		完全給食	補食給食	ミルク給食	計
小学校	505校	99.8% (504校)	—	0.2% (1校)	100.0% (505校)
中学校	237校	95.8% (227校)	—	4.2% (10校)	100.0% (237校)

白身魚の野菜あんかけ

- ▶材料（3人分）
- 白身魚の切り身 3切
 - にんじん 1/2本
 - もやし 1/2袋
 - えのき茸 1/2袋
 - しょうが 適量
 - 薄口醤油 適量
 - すし酢 適量
 - 片栗粉 適量
- ①魚に片栗粉をまぶし、からりと揚げる。
 - ②せん切りにしたにんじん、もやし、えのき茸を鍋に入れ、ひたひたに水を入れ煮る。
 - ③②に薄口醤油、すし酢を入れ、片栗粉を溶かし入れ、少しかためるあんにする。
 - ④①に③をかけて食卓へ。

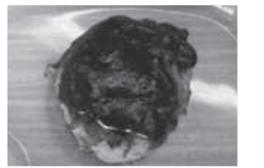


Point
いろいろな魚で試してみてください。あんに入れる野菜も何でも大丈夫です。

会津地鶏入りミートローフ

- ▶材料（3人分）
- 地鶏ひき肉 150g
 - 豚ひき肉 150g
 - 玉ねぎ（中） 2個
 - ミックスベジタブル 適量
 - パン粉 150g
 - 牛乳 150cc
 - 塩コショウ 適量
 - サラダ油 適量
- ①玉ねぎはみじん切りにし、サラダ油を温めたフライパンで焦がさないように炒め、冷ましておく。
 - ②ボールに地鶏ひき肉と豚ひき肉を入れ、パン粉と牛乳と①を入れて粘りが出るまでこね、ミックスベジタブルを加え、冷蔵庫で30分ほどねかせる。
 - ④アルミホイルにサラダ油を適量ぬり、③を棒状の形に整えて包み、つまようじで適当に穴を開ける。
 - ⑤オーブンを170度にし、時々上下を返しながらかく。
 - ⑥穴から透明な汁が出てきたら焼き上がり。
 - ⑦あら熱をとって適当な厚さに切り、好みのソースなどをかけて食卓へ。

Point
こねる硬さはハンバーグと同じ。チーズや豆腐を入れてもおいしいです。



会津地鶏汁

- ▶材料（3人分）
- 大根 1/2本
 - ごぼう 1/4本
 - にんじん 1本
 - 地鶏もも肉 1枚
 - 地鶏ガラ 1羽分
 - 豆腐 半丁
 - 長ねぎ 1/2本
 - 里芋 5個
 - 酒、醤油、みりん 適量
- ①地鶏ガラを骨がくずれる程度まで中火からとろ火で煮出す。（アクをとりながら）
 - ②大根、ごぼう、にんじんはそぎ切りにし、ひたひたの水で煮る。
 - ③地鶏もも肉をそぎ切りにして入れる。
 - ④やわらかくなったら①のガラスープを鍋7分目まで入れ、里芋を加え、やわらかくなるまで煮る。
 - ⑤豆腐、長ねぎを加え、酒、醤油、みりんで味付けする。



Point
ガラスープが決め手。沸騰して白濁しないように注意。

おこわ

- ▶材料（3人分）
- もち米 5合
 - ごぼう 1/2本
 - にんじん 1/2本
 - 油揚げ 2枚
 - まい茸 1袋
 - サラダ油、酒、醤油、砂糖、塩 適量
- ①もち米は前日にといで、ぬるま湯にうるかしておく。
 - ②ごぼう、にんじんはそぎ切りにし、油揚げはせん切り、まい茸は細かくばらす。
 - ③②をサラダ油で炒め、しんなりしたら具にかぶるぐらいに水を入れる。
 - ④沸騰したら酒、醤油、砂糖、塩を適量入れ、ごぼうがやわらかくなるまで煮る。
 - ⑤もち米はざるにあけ水を切る。
 - ⑥ふかし鍋に敷布をぬらして敷き、もち米を入れ強火で90分蒸す。
 - ⑦もち米の上に④を適量平らにのせ、中火で30分さらに蒸す。
 - ⑧④の残りの具と汁を⑦にまぜ合わせ、保温ジャーで少し置いてから食卓へ。

Point
具の味付けは少し濃いめに。





桑原地区の水源について説明する長谷川一雄区長（左端）

地区要望について現地調査 区長などが要望内容を説明

地区要望の現地調査は5月7日から9日にかけて行われ、産業建設課と地区担当の職員が地区役員の案内により要望箇所を確認して回りました。桑原地区では生活用水の水源の横穴補修や、町道桑原スキー場線の舗装などの要望について、長谷川一雄区長が説明しました。町では対応可能なものは早期に実施し、大きな予算が必要なものについては国・県への要望を行います。



ギターを演奏しながら声高らかに歌う平山長一課長

JA 会津みどりの平山長一課長が熱唱 年金友の会でミニコンサート

JA 会津みどり三島総合支店年金友の会総会は5月7日、町民センターで行われ、平成23年度活動報告・決算および平成24年度活動計画・予算が承認されました。総会終了後、農業経営支援対策室の平山長一課長のミニコンサートが開かれました。平山課長はアレンジした民謡「会津磐梯山」や、自作の曲などをギター演奏により歌い、出席した皆さんを楽しませました。



町内の事業者などが出席した「ちいさな企業未来会議」

小規模企業の課題について話し合う 中小企業庁「ちいさな企業未来会議」三島で開催

経済産業省中小企業庁が小規模企業の経営向上に向けて行う「ちいさな企業未来会議」は4月24日、町民センターで開催されました。会議には町内の事業者などが出席し、これまでの事業の経緯や自分の思い、経営上の課題や悩みを話し合いました。中小企業庁では「9割を占める小さな企業が日本を変える」としており、今回の会議が国の支援につながることを期待します。



統監に敬礼する二瓶義徳第一分団長

地震、豪雨、竜巻、想定外はない 消防団春季検閲式

消防団春季検閲式は4月29日、町民運動場で行われました。団員たちは青空のもと、通常点検、機械器具点検、小隊訓練、分列行進に真剣に臨みました。二瓶隆司町長（統監）は「現在も地震情報が頻りに流れ、東日本大震災を忘れることはできない。団員には一層の努力をお願いしたい」と訓示を述べました。三島町では5月28日現在、無火災が1,469日続いています。

親子で険しい参道を登り「子育ての神様」に参拝 子どもの成長を願う鬼子母神例大祭



多くの参拝者が訪れた鬼子母神堂

【鬼子母神伝説】昔、鬼子母神には千人の子どもがいたが、人の子をさらっては食い、村人に恐れられていた。ある時、神様が鬼子母神の子を一人隠した。鬼子母神は千人のうちのたった一人を気違いになって探し回った。そして自分の罪に気付いて改心し、「子育ての神様」になったという。

鬼子母神例大祭は5月3日から5日まで、西方地区の鬼子母神と西隆寺で行われました。西方鬼子母神奉賛会、西隆寺、町観光協会の主催。鬼子母神堂は標高500mの岩倉山頂上にあり、明治初めに地元の庄屋が建立したものです。安産や子どもの健やかな成長を願い、町内外から参拝客が訪れます。小さい子が親に手を引かれ、まだ歩けない幼い子は親に背負われて、険しい参道を登り参拝する習わしが受け継がれています。

また鬼子母神堂付近からは、奥会津の山々や只見川の雄大な風景を望むことができ、志津倉山や磐梯山も見えます。さらにすぐ近くには桜の名所、大林ふるさとの山が見え、今年は見ごろと重なったので、ピンクに色付いた風景を眺めることができました。



トロッコ列車内で乗客に地酒などが振る舞われた

過去最高の乗車率、車内で地酒サービス トロッコ列車「風っこ奥会津号」

トロッコ列車「風っこ奥会津号」は5月3日から6日まで、JR只見線で運行されました。昨年の橋梁流失のため会津川口駅までの運行でしたが、5日の乗車率は97%、ほかの日も7割以上で過去最高の実績でした。車内では地酒などの無料サービスが行われ乗客に好評でした。また会津川口駅前では物産販売も行われ、4日には三島太神楽保存会が長獅子を披露しました。



選挙後、新たな議員構成となって開会された町議会

新たな町議会がスタート 新人4人が初出席

先月選挙を実施した町議会は5月11日、新たな議員構成による初の議会（臨時会）を開き、新人の菅家政義議員（荒屋敷）、小柴正洋議員（西方）、二瓶俊浩議員（大谷）、長谷川清雄議員（川井）が初めて出席しました。また議長に小柴修一議員（西方）、副議長に五十嵐健二議員（宮下）が就任しました。町議会議員の任期は、平成28年5月10日までの4年間です。



表彰を受ける西方第三納税貯蓄組合長の小平兼嗣さん

**小平兼嗣さん
優良納税貯蓄組合長表彰**

三島町納税貯蓄組合連合会総会は5月23日、町民センターで行われました。総会では、宮下第三納税貯蓄組合、滝谷納税貯蓄組合、大谷納税貯蓄組合が、町から優良納税貯蓄組合長表彰を受けました。また西方第三納税貯蓄組合長の小平兼嗣さんが、町から優良納税貯蓄組合長表彰を受けました。小平さんは平成19年に組合長に就任して以来5年間、納税率100%を維持してきました。

議事では平成23年度事業報告・収支決算と平成24年度事業計画・収支予算が承認されました。

**議員選出の町監査委員に
菅家政義議員**

町監査委員に菅家政義議員（荒屋敷）が委嘱されました。監査委員の定数は2人で、菅家政義議員のほか中兵一郎さん（大石田）が委嘱されています。

監査委員は、定期監査や出納例月検査を行い、町の収入、支出など財政の運営、財産の管理等の状況が健全かどうかチェックする役割を担います。また町が行う各種事務事業について、必要があれば町職員の説明や関係書類の開示を求め、その正確性や妥当性などを、独立した立場から検査します。



町監査委員の委嘱を受ける菅家政義議員

各種団体総会



**三島町生活工芸運動友の会
奥会津三島編組品振興協議会**

生活工芸運動友の会および奥会津三島編組品振興協議会総会は5月16日、町民センターで行われました。平成23年度事業報告・収支決算と平成24年度事業計画・収支予算が承認されたほか、山ブドウやマタタビなどの材料確保の問題や、編み組細工のPR強化などについて話し合いました。



三島町赤十字奉仕団

三島町赤十字奉仕団総会は4月20日、町民センターで行われました。栗城清子委員長は「震災、豪雨の際は多くの会員にご協力いただきました。今後も復興支援にさまざまなかたちでお力添えをお願いします」とあいさつしました。今年度は家族介護教室のほか、被災地視察と復興支援として宮城県名取市^{ゆりあけ}地区への視察研修などを計画しています。



三島町交通安全母の会

三島町交通安全母の会総会は4月20日、町民センターで行われました。県交母の歌を斉唱した後、大竹祐子会長があいさつしました。議事では平成23年度事業報告・収支決算と平成24年度事業計画・収支予算が承認されました。母の会では今年度も、交通事故防止県民総ぐるみ運動での街頭活動や、飲酒運転撲滅のための啓発活動などを行います。

町民記者から初寄稿

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）

新会長に佐久間源一郎氏

町商工会第51回通常総会



商工会館で行われた町商工会第51回通常総会

三島町商工会第51回通常総会は5月23日、商工会館で行われました。商工会関係者や来賓の皆さんなど約40人が出席しました。菅家政義会長があいさつした後、永年優良従業員の表彰が行われ、勤続19年の滝谷建設工業(株)の井上正博さんら4人に表彰状と記念品が手渡されました。来賓祝辞、来賓紹介後、議事に入り、平成23年度事業報告と収支決算、平成24年度事業計画案と収支予算案などが承認されました。その後、任期満了に伴う役員を選任に移り、新会長に佐久間源一郎氏（佐久間建設工業(株)）、副会長に栗城佐氏（^{ゆりあけ}栗城）、布川孝平氏（布川商店）が選ばれ、そのほか理事、監事に15人が選任されました。



北館長一教育長に寄附金を手渡す齋藤茂樹さん

**齋藤茂樹さんから
町へご寄附**

齋藤茂樹さん（宮下）は5月24日、役場を訪れ、町への寄附金を手渡しました。齋藤さんは前町長で、平成7年10月から15年8カ月にわたり、町政のトップとして町づくりを先導し、その功績により春の叙勲で旭日双光章を受章しました。齋藤さんは「町民の皆さんのお力添えにより頂いた叙勲ですので、感謝の意を込めて、町づくり進展のために寄附します」と話しました。



二瓶隆司町長に寄附金を手渡す佐久間建設工業(株)の佐久間源一郎代表取締役

**佐久間建設工業(株)から
町へご寄附**

佐久間建設工業(株)の佐久間源一郎代表取締役は5月23日、役場を訪れ、町への寄附金を手渡しました。同社は東日本大震災の復興仮設住宅建設を受注したIORI倶楽部の代表企業として、いわき市などを中心に96棟206戸の仮設住宅を建設し、その利益の一部を町へ寄附しました。佐久間代表取締役は「地域の活性化に役立ててください」と話しました。

保健・子育て 健康づくり

☎ 町民課 ☎ (48) 5565



schedule

● 総合検診

6月15日(金)・17日(日)・18日(月)・19日(火)

町民センター

対象者 がん検診= 35歳以上

特定健診= 40～74歳

健康診査= 19～39歳、75歳以上

※特定健診の施設健診は、県立宮下病院、坂下厚生総合病院で実施する予定です。

● 子宮がん検診

6月5日(火) 町民センター

対象者 20歳以上

● 骨粗しょう症検診

6月11日(月)～16日(土) 午前中 齋藤医院

対象者 偶数年生まれの20歳以上の女性

昨年受診していない方

● 4カ月児健診

6月12日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

● 足腰げんき教室

◎室内運動編

6月5日(火) 13:30～ 町民センター

7月10日(火) 13:30～ 町民センター

◎水中運動編

6月28日(木) 13:00 町民センター集合

(西会津町民プールへバスで送迎)

● 機能訓練会

6月13日(水) 14:00～ 福寿草

7月11日(水) 14:00～ 福寿草

● 心の健康相談 (※事前申し込み必要)

6月18日(月) 13:30～ 福寿草

《申込先》町民課 ☎ (48) 5565

献血が ともす愛の灯 いのちの灯

皆さんの善意が、尊い命を救います

献血の日程

6月21日(木) 9:30～11:00 桐寿苑前

12:30～17:00 町民センター前

☎ 役場 町民課 ☎ (48) 5565

県立宮下病院から



◎ 新任医師 ◎

愛澤 正人 先生

皆さん初めまして。この度4月1日付けで県立宮下病院勤務を命ぜられました愛澤正人です。特別養護老人ホーム「桐寿苑」の嘱託医も兼務させていただいております。

前任地は、田島にある県立南会津病院で、内科として通算4年の診療を行ってまいりました。同じ会津地区ですので、気候や風土は似通っていると思っておりましたが、赴任当初は南会津より雪深い印象でした。

専門分野は消化器疾患で、主に内視鏡治療なども勉強しておりますが、ここ宮下病院では、当院で可能な内科全般に渡る診察、治療などを行わせていただきつつ、専門性の高い疾患に関しては他病院へ紹介するなど、患者さんに最適な医療を提供していきたいと考えております。

東日本大震災や福島第一原発事故で、福島県の医療は危機的状況にあります。当地域の医療を支えることで、福島県全体の医療の復興にも貢献できると考えておりますので、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

農道や水路の補修・管理など、5年間の事業を完了

西方地区の

「農地・水・環境保全向上対策事業」

西方地区において、平成19年度から実施されてきた農地・水・環境保全向上対策事業が、5年間の事業期間満了により終了しました。同地区では、西方地区環境保全協議会が事業を実施してきました。佐藤幸志会長が4月12日、役場を訪れ、産業建設課の秦和幸課長に事業完了を報告しました。

農地・水・環境保全向上対策事業は、農業者を中心に地域住民や関係団体が協力して、地域の農業環境の向上を図る取り組みです。西方地区では、農業施設(農道や水路)の点検や補修、草刈りなど保全管理が実施されました。



事業完了の報告書類を秦和幸課長に手渡す佐藤幸志会長



本事業により農道や水路の補修・管理などが行われた

熊に注意



桑原地区の畑で見つかった熊の足跡

熊が出没しています。山菜採りや畑仕事などの際は、鈴を身に付けるなど十分注意してください。熊を目撃したり、足跡を見つけたときは、すぐに役場にご連絡ください。

☎ 役場 産業建設課 ☎ (48) 5566



感謝状を受ける鳥獣保護員の二瓶政一さん

二瓶政一さん

環境省自然環境局長から感謝状

野生生物保護功労者表彰

野生生物保護功労者表彰において、鳥獣保護員の二瓶政一さん(名入)に環境省自然環境局長からの感謝状が授与されました。感謝状の伝達は5月28日、役場で行われ、県会津地方振興局の齋藤県民環境部長から二瓶さんに手渡されました。二瓶さんは平成9年から現在まで、鳥獣保護員として長年尽力しています。

Music チャリティーコンサート

管弦楽の音色が響く
交流センター山びこでコンサート



フルートやバイオリンなどの演奏を聴いたコンサート

松原のおいしい米を食う会とログハウスどんぐりの主催によるチャリティーコンサートは5月12日、交流センター山びこで開催されました。

Library 町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

Book Review

ゆめうりふくろう

久留島武彦 作 遠山繁年 絵
幻冬舎ルネッサンス

「やあ、いらっしゃい。今日はどんな夢が欲しいのかな」。人間の子どもが見た夢を集め、森の動物たちを幸せにするふくろうの物語です。



ゆりかごのヤマト王朝

千城央 著
本の森

犬養、荻田麻呂、田村麻呂…。幾多の政変をくぐり抜け、激動のヤマト王朝で活躍した坂上父子三代の生きざまを描くシリーズです。



町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

- 利用時間 月～土 9:00～21:00 日・祝 9:00～17:00
●お休み 年末年始
●教育委員会 ☎ (48) 5599

History 縄文の匠

荒屋敷遺跡展を開催
県文化財センターまほろん



展示された荒屋敷遺跡出土品

県文化財センターまほろん（白河市）の荒屋敷遺跡展は3月10日から5月20日まで開催され、三島町からも希望者を募集して見学に行きました。

歳時記

萌の会

- 焼き畑は鶯のアリア片栗の花 佐藤 朋良子
無住寺の仏出でませ花吹雪 志田 たつの
畑を打つ腕に覚えの返し鍬 片山 祐一
黄水仙挿して句を選る古机 栗城 幸子
冬構え解いて孫の手借りにけり 小平 佳子
癒されて切に生きよと花朧 小柴 有美子
踊り出すほどに乱れし黄水仙 小柴 盛雄
萌木山列車二両を飲み込みぬ 諸井 まさ子

剣道を通して
子どもたちの成長を

三島剣友会 会長 栗城 佐さん

このたび全剣連より「少年剣道教育奨励賞」を拝受賜りました。今後さらなる精進を誓ったところであります。

子どもは正直です。誰一人、稽古に來なかつた日はありません。しかしある時、道場である体育館に明かりがつかまませんでした。

種大会に参加し優秀な成績を残した時期でした。当時は三島駐在所の大橋公一氏をお迎えし、厳しい指導のもと子どもたちが成長していった姿が懐かしく思います。

現在は少年剣士が減少しております。わが剣友会も同じですが、現在20人の子どもたちが頑張っております。

民話

第15話

猿婿の話

昔、あるところに爺さんと婆さんに娘三人が暮らしておった。ある時、爺さんが田の水とりに堰さ行ったら、大石が堰の真ん中に落ちて、とても動かせず困っておいたら、上の方から猿が来て、「爺さん、俺がとつてやるから」と、すぐにとつてくれた。

と、その次の娘も「ううやだ。猿のお方になんか行つてやるもんか」と言う。三番目の娘が来て「爺さん、起きて湯でも茶でも飲んで寝たら」と言う。また爺さんは「猿のお方に、お前行つてくれないか」と言う。と三番娘は「いいとも。俺が行くから、起きて湯でも茶でも飲んで寝な」と言ったので、爺さんは喜んで、猿がもらいに來たので、爺さんは泣き泣き送つて行つた。

これからの行事予定

6月3日㊤
志津倉山開き 安全祈願 8:20～ 登山口

6月9日㊤・10日㊤
第26回ふるさと会津工人まつり 9:00～ 生活工芸館前
てわっさの里まつり 9:00～ 宮下町内
第5回山と木の市場 9:00～ 会津桐炭(株)内

6月9日㊤
伝統行事「虫送り」19:00～ 西方・名入地区

6月11日㊤
交通安全協会三島分会総会 19:00～ 町民センター

7月8日㊤
県民スポーツ両沼大会 昭和村

地域ふれあいサロン

川井「友愛サロン」社会見学
6月13日㊤ いわき市方面

大石田「友遊サロン」
6月21日㊤ 10:00～ 大石田生活改善センター

㊤ 町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

放射能測定結果 (抜粋)

●食品

品名	検査日	採取場所	放射性物質 (ベクレル/kg)		
			ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137
ワラビ	5月14日	滝谷	不検出	不検出	不検出
コシアブラ	5月17日	間方	不検出	不検出	24
ゼンマイ	5月10日	間方	不検出	不検出	不検出
アスパラガス	5月11日	西方	不検出	不検出	不検出
レタス	5月17日	桧原	不検出	不検出	不検出
大根	5月17日	宮下	不検出	不検出	不検出
ねぎ	5月11日	川井	不検出	不検出	不検出
しいたけ	5月11日	大谷	不検出	不検出	不検出
たけのこ	5月16日	大登	不検出	不検出	不検出
くきたち	5月10日	早戸	不検出	不検出	不検出

●非食品

品名	検査日	採取場所	放射性物質 (ベクレル/kg)		
			ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137
落ち葉	5月16日	浅岐	不検出	455	589
土壌	5月11日	西方	不検出	136	192

㊤ 役場 地域政策課 ☎ (48) 5533
放射能検査室 ☎ (52) 3511

全国一斉

子どもの人権110番

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会では、6月25日から7月1日までの7日間を全国一斉「子どもの人権110番」強化週間として、いじめや嫌がらせ、虐待、体罰など子どもが抱える人権問題について、電話相談を実施します。相談は人権擁護委員と法務局職員が応じます。秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

なお強化週間以外の平日においても、午前8時30分から午後5時15分まで相談に応じていますのでご利用ください。

- 期間 平成24年6月25日㊤から7月1日㊤まで
- 時間 午前8時30分から午後7時まで
※6月30日㊤と7月1日㊤は
午前10時から午後5時まで

相談電話 (フリーダイヤル)
0120-007-110

㊤ 福島地方法務局 人権擁護課 ☎ 024 (534) 1994

危険物安全週間

危険物 めざせ完封 ゼロ災害

「危険物安全週間」は、危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を推進するために、毎年6月の第2週に全国で実施されています。

危険物には、ガソリン、灯油、軽油などの燃料のほか、塗料、エアゾール製品、プラスチック、化学繊維の原料などがあり、私たちの生活に幅広く使用されています。その取り扱いを誤ると、大きな災害を引き起こす危険性があります。また新たに平成24年7月1日より、漂白剤、消臭剤などの身近な製品も危険物の規制を受けることになりました。

危険物を取り扱う事業者はもちろん、家庭でも危険物の安全な取り扱い、廃棄、保管方法などについて再確認し、危険物に関する事故や災害を防ぎましょう。

㊤ 会津坂下消防署三島出張所 ☎ (52) 3032

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では4月中、1件の刑法犯がありました。

「野焼き」は犯罪です!

野焼きは、廃棄物の処理および清掃に関する法律(廃棄物処理法)で禁止されている行為ですが、依然として家庭ごみなどを自宅敷地内などで燃やしている方が多いようです。

◆野焼きとは?

廃棄物処理法で規制する「野焼き」とは、「廃棄物を屋外で焼却する行為」という意味です。山野を肥やすための火入れや土手焼きのことではありません。

◆なぜしてはいけないのか?

廃棄物処理法は「生活環境の保全、公衆衛生の向上」を目的としており、同法第16条の2に「誰もが廃棄物を焼却してはならない」と定められています。例外的に認められている焼却方法もありますが、ドラム缶を用いた焼却などは禁止されています。

※公益上、社会慣習上やむを得ない焼却は認められています。

◆罰則

5年以下の懲役または1,000万円以下の罰金(法人の場合は3億円以下の罰金)

街頭犯罪発生状況 (1月～4月)

区分	管内	三島町
空き巣ねらい		
忍び込み		
事務所荒らし	1	
出店荒らし	1	
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗	2	
自販機ねらい		
車上ねらい	1	
部品ねらい		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	5	0
全刑法犯	29	1

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

個人事業税
納税をお忘れなく

個人事業税は、県内に事務所・事業所を設けて、物品販売業や不動産賃貸業など一定の事業を営んでいる方に納めていただく県の税金です。

会津地方振興局県税部から送付される納税通知書により、年税額を8月(第1期分)と11月(第2期分)の2回に分けて納めることになっています。ただし年税額が1万円以下の場合は、8月に一括して納めることになります。また口座振替による納税もできます。詳しくはお問い合わせください。

㊤ 福島県 会津地方振興局 県税部
課税第一課 事業税チーム
☎ 0242 (29) 5251

特別講演会

「ピンチをチャンスに！」
会津地域の経済復興とその戦略

大震災と原子力災害により大きな被害を受けている県内の農業、観光業の復興戦略を提案する講演会です。

講師 藻谷浩介氏

(株)日本総合研究所
調査部 主席研究員)

とき 7月13日㊤

午後3時～午後4時30分

ところ 会津大学短期大学部
310教室

定員 先着150人

申込 会津大学短期大学部
地域活性化センター
☎ 0242 (37) 2300

三島町の人口と世帯
(5月1日現在)

人口	1,929	+4	出生	1
男	921	+3	死亡	3
女	1,008	+1	転入	10
世帯	831	+7	転出	4

※住民基本台帳による数値です。

富士山・青少年キャンプ
参加者募集

富士山麓のキャンプ場で、全国から集まる日本人と在日外国人の友達と一緒に、さまざまな野外活動を通じて友情を深め、国際感覚を身につけながら、仲間と協力し助け合う楽しさを学びましょう。

期間 8月1日㊤～8月5日㊤
(4泊5日)

場所 山梨県本栖湖
青少年スポーツセンター

定員 日本人80人、外国人20人
対象 小学3年生～中学3年生
内容 富士登山、テント設営、野外炊飯、キャンプファイヤー、アンダースタースリーピング(野宿体験)等

締切 7月6日㊤

参加費 郡山駅発
小学生 61,000円
中学生 68,000円

説明会 6月17日㊤ 15:30～
福島テルサ
(福島市上町4-25)

問合せ・資料請求

(財)国際青少年研修協会(文部科学省所管)
〒108-0073 東京都港区三田5-7-8-921
☎ 03 (6459) 4661
ホームページ <http://www.kskk.or.jp>

ご寄附
ありがとうございました

町社会福祉協議会へ

ご遺志によるもの

鈴木 隆 様(桧原)
五十嵐 一 芳 様(浅岐)
角田 勇 雄 様(大谷)
阿部 キチノ 様(荒屋敷)

篤志寄附

菅家 正平 様(東京都)



大石田地区の高尾原の畑で、じゃがいもの植えを体験するオーナーの皆さん。この日は太陽が照りつける夏日となり、地区住民の皆さんとともに汗を流した。第1回プログラムにはオーナー10組のうち5組が参加した



(左) 作業後、青空のもとでおにぎりや漬物、山菜料理などを味わった昼食会
(右) そばの種まき

一歩一歩
地区
づくり
File2

大石田地区

畑仕事や山菜採り 楽しく山村体験

そば・じゃがいもオーナー制スタート

大石田地区で5月20日、「そば・じゃがいもオーナー」の第1回プログラムが行われました。オーナーの皆さんは同地区の皆さんとともに、そばの種まき、じゃがいもの植え、山菜採りを行い、山村での一日を楽しみました。

同地区で3月に設立した福一満そばクラブが初めて募集し、会津若松市や首都圏などから10組が申し込みました。料金は1組3万円、今後11月までに、そば・じゃがいもの収穫、行事体験、史跡巡り、そば打ち体験、収穫祭など計5回のプログラムが行われます。またオーナーは、そば粉2kg、じゃがいも10kgを持ち帰ることができるほか、野菜・きのこ等詰め合わせ、年越しそばセットを大石田地区から



福一満そばクラブ会長
秦 庄栄さん

オーナーの皆さまと長いお付き合いができるよう努めていきます。また村の人同士の交流も増えることがうれしいです。この事業で地区が元気になれば、町の活性化にもつながると思っています。

届けます。同地区の皆さん約30人が、畑の提供やプログラムの運営、昼食の準備などに協力しています。原発事故のために大熊町から会津若松市に避難している松本弘道さん、片倉幸子さん、杉本友美さんはそれぞれ家族で参加。松本さんは「会津の人はなんて心が広いんだろう」と感じています」と話しました。また片倉さんは「自然とのふれあいや食育を大事にしたい」とおっしゃる。杉本さんも「小学1年生の息子に自然の中で体験をさせたいです」と話しました。また大石田出身で会津美里町に住む秦初雄さんも参加。「少しでも地区のためになればと思います」と話しました。



全員の顔が見える職場です

平成25年4月採用 三島町職員（大卒程度）採用候補者試験

- ◆試験職種 一般事務
- ◆受験資格 昭和58年4月2日以降に生まれた者で、4年制大学を卒業した者または平成25年3月までに卒業見込みの者
- ◆採用予定 若干名
- ◆一次試験 平成24年7月22日①
- ◆試験会場 福島大学（福島市金谷川1番地）
- ◆受付期間 平成24年6月22日②まで
(郵送による申し込みは、平成24年6月21日③までの消印に限る)

※申し込み方法などについては、三島町役場総務課へお問い合わせください。

☎ 三島町役場 総務課 ☎ 0241 (48) 5511

編集後記

▼子どもたちは、しっかりと食へることで心身ともに成長していきます。三島小の佐藤則之校長は「他校では朝食を食べてこない児童も増えていきます」と話します。子どもが食べないということは、親も食べていないということ。学校や地域の「食育」を考える以前の問題です▼弁当を作る家庭では、前日の夜に準備したり、朝食を作りながら弁当を詰めたりすると思います。おのずと朝食も食へるようになります。弁当作りは、家族の基本的な生活習慣にもつながると思います▼三島の子どもたちは完全給食を経験せずに、高校や大学へ進学し、社会へと出ていきます。家庭環境はさまざまだと思いますが、親を離れるまでほぼ毎日、家庭の弁当を食べて育ちます。子どもたちは、独り立ちしたとき必ず、親の苦労と、大きな愛情に気づくと思います。

奇跡の天体ショー

全国各地で金環日食 当町でも部分日食を観測



(上) 5月21日午前7時30分ごろ、太陽が月の影で大きく隠れる部分日食が見られた(西方地区で撮影)

(下) 西方地区では最も太陽が隠れる時間が近づくと、子どもからお年寄りまで誘い合って空を見上げた。日食が見えると「おー見えた見えた。すごい」と声を上げて感動。このとき辺りは夕暮れのような柔らかい光に包まれ、少し涼しさを感じた

この瞬間に遭遇できたことが奇跡です。5月21日午前7時30分ごろ、全国の広範囲で金環日食や部分日食が観測されました。天候に恵まれた当町でも、部分日食がはっきりと見られました。西方地区では住民の皆さんが外に出て、奇跡の天体ショーを目の当たりにしました。

日食とは、太陽が月の影に隠れる現象です。太陽、月、地球の順に一直線に並んだときに起こります。月や地球の軌道は楕円であるため、太陽と月の見た目の直径は常に変化しています。月の直径が太陽より大きく、太陽全体が隠れる場合を皆既日食といい、逆に太陽の直径が月より大きい場合は、細い光の輪となつて見え、これを金環日食といいます。日本では昭和62年9月23日に沖縄で観測されて以来25年ぶりで、今回のように全国の広範囲で観測されたのは932年ぶりということです。

奇跡はさらに続きます。6月6日には「金星の太陽面通過」が起こります。午前7時過ぎから約6時間かけて、金星の小さな影が太陽の表面を横切っていきます。見逃すと次は105年後の西暦2117年12月11日ということで、おそらく人生最後のチャンスです。

五月のスナッフ

Memory of Mishima's Children

まぶしい太陽のもとで行われた三島小の運動会
組体操は、息と力を合わせて大成功しました
三島保育所の子どもたちは、じゃがいもの種植えを体験
畑のわきに咲いた大きなタンポポの花を見つけました

